

## 地域社会に密着した多彩な活動も展開しています。

大成ロテックは、環境配慮型の技術・工法の開発などを通じて、広く社会に貢献しています。それと同時に、全国の各支社・事業所単位で、地域行事への積極的な参加はもちろん、地域の特性を考慮した自主的な活動も展開。地域に溶け込み、地域の人々との相互理解と交流を深めています。

### 札幌市西区の「アダプトプログラム」に参画

北海道支社道央事業所では、札幌市西区地域振興課の推進するアダプトプログラム\*に参画。札幌市西区福井8丁目(道央営業所所在地)から、同福井483番地(プラント所在地)の1.3km区間の「道路清掃」や、「違反広告物の撤去」、「道路情報の提供」を、災害防止協議会開催日に併せて実施しています。

\*アダプトプログラム:企業などが道路や公園など公共の場所の里親(アダプト)となり、定期的・継続的に清掃活動を行い、行政がこれを支援する仕組み。



### 小牧山清掃に参加

中部支社の小牧合材工場では、2008年より小牧市が主催する小牧山公園の清掃活動に参加しています。事業所制度となった2011年は、尾張事業所・営業所・工事事務所社員とともに実施。ゴミを拾いながら桜咲き誇る小牧山史跡公園の遊歩道を登ると、うっすらと汗をかいてきます。頂上に復元された小牧城天守閣がある小牧山は、小牧・長久手の戦いの舞台として知られています。美化活動をしながら職場のある地域の歴史に触れる、良い機会でした。今後も社員の社会貢献に対する意識向上を図るため、このような活動に積極的に参加していきます。



### 沖縄「てだこハーリー大会」に毎年参加

ハーリーとは、海の恵みに感謝し、安全と豊漁を願う漁師さんたちの伝統行事。爬龍(はりゅう)船と呼ばれる手漕ぎのボートで競い合う勇壮な競技が行われます。九州支社・沖縄事業所では、毎年このイベントに参加し、地域の方々との交流を深めています。



## 環境技術をメインテーマに、時代の最先端ニーズに対応した開発・研究を推進しています。

大成ロテック技術研究所(埼玉県鴻巣市)は、昭和39年の開設以来、道路舗装の材料、工法の開発研究、基礎技術、応用技術の研究を行っています。また、常にその時代の社会ニーズに目を向け、研究テーマを決めています。



技術研究所(外観)

### 社会や時代が必要としている技術テーマを設定

アスファルトやコンクリートなど、舗装に用いる材料や施工方法・施工管理手法に関連した開発研究をはじめ、自然と生活環境の改善など、社会と時代のニーズの変化にも対応した活動を展開しています。

近年、温暖化やヒートアイランド現象など、私たちの生活の中で環境問題が大きな問題となる中で、研究所においても環境に配慮した開発に重点を置いています。具体的には、中温化アスファルト混合物によるCO<sub>2</sub>発生量の削減、保水性舗装、遮熱性舗装などによるヒートアイランド対策としての環境対策技術をはじめ、寒冷地における路面凍結の防止、天然土を利用した土系舗装など、安全性、自然および地域性に密着した研究を続けています。



実験通路

### 情報発信・研究会活動

技術研究所では、研究開発業務のなかで得られた知見を日本道路会議、土木学会全国大会や、公的機関誌などに積極的に発表(情報発信)し、環境の保全、安全安心な国民生活の確保、利便性の向上に貢献しています。

#### ■発表論文集・機関誌リスト(1995~2011)

発表先	発行機関	件数	その他の発表機関誌
日本道路会議 論文集	(社)日本道路協会	132	コンクリート工学年次論文報告集、セメントコンクリート セメント・コンクリート論文集、コンクリートテクノ 建設の機械化、建設機械、地盤工学研究発表会 農業土木学会 大会講演要旨集 大ダム、ダム技術講演討論会テキスト 土木技術、土木技術資料、土と基礎 国土技術政策総合研究所報告
土木学会 年次学術講演会講演概要集	(社)土木学会	127	
土木学会 舗装工学論文集	同上	24	
土木学会 論文報告集	同上	7	
舗装(機関誌)	(株)建設図書	64	
道路建設(機関誌)	(社)日本道路建設業協会	32	
北陸道路舗装会議 技術報文集	同上	12	
アスファルト(機関誌)	有限責任中間法人(有)日本アスファルト協会	17	
あすふあるとにゅうざい(機関誌)	(社)日本アスファルト乳剤協会	5	
アスファルト合材(機関誌)	(社)日本アスファルト合材協会	7	
その他の機関誌		45	
計		472	

(注)当社の発表件数は、大手舗装会社8社中3位

また、(社)道路建設業協会が2年に1回募集する懸賞論文にも積極的に応募し、直近の10年間で、3等以上が8件(大手舗装会社8社中1位)の入賞実績を誇っています。

さらに、舗装に関する各種技術研究会に参画し、自社技術レベルの向上や、技術の標準化、普及活動にも取り組んでいます。

#### ■参加研究会と活動概要

研究会名称	活動概要
つくば舗装技術交流会	舗装に関する試験・研究の合理的かつ効果的な立案・遂行と舗装に関する新技術・新工法の発展に資することを目的とする。
路面温度上昇抑制舗装研究会	保水性舗装技術研究会と遮熱性舗装技術研究会が統合して発足した研究会で、ヒートアイランド現象の一要因とされる路面温度の上昇を抑制する技術の普及活動。
凍結抑制舗装技術研究会	冬期における道路交通の安全性確保を目的とした凍結抑制舗装の技術の向上と普及及び性能評価方法の確立などの活動。
地球温暖化対策技術(民生用)研究会	温暖化対策技術の開発・普及に取り組んでいる民間と環境省との政策対話、また、民間同士の連合による新たな技術の普及活動。
ブロック・自然石舗装構造研究会	製品会社、道路建設会社、大学等で構成され、車両通行用途に対応可能な湿式工法によるブロック系舗装の設計施工要領(案)の作成を目的に活動。